

第2回要介護認定調査検討会	資料5
H18. 12. 6	

プレ調査の結果について

場所：老人保健施設（千葉市）

日時：平成18年12月4日

午前10時30分～午後3時30分

方法：（1）時間調査：

- ① 施設介護者5名に調査員（ケアマネージャー等）5名がマンツーマンでつき、1分毎に介護内容を記載した。
- ② 調査終了後、調査員が別室で、記録した1分毎のケアの内容を、ケアコードに変換した。（所要時間1時間）

（2）状態調査：

施設入所者5名に対し、2名の施設職員が聞き取り調査を実施した。

※ 5名の調査員については、認知症病棟に2名、ADL低下者のみの病棟に3名を割り振った。

結果：

(1) ケアコードの運用面について

判断に迷うところもあったが、休憩時間等に助言することにより、ほぼ一通り記載することが可能であった。

→本調査前に、全調査対象施設を対象に、数時間のプレ調査を実施し、判断にブレの生じるところを事前に把握し、全調査員が正確に記載できるよう周知徹底を図る。

※ 判断にブレの生じうる箇所

- ① 入浴介助は、浴室内での移動・移乗介助を含む。
- ② 浴室での排泄介助は、排泄介助のコードを使用する。
- ③ 入浴後の頭髪のドライヤー乾燥は、整容のコードを使用する。
- ④ トイレ・浴室へ向かう廊下の移動は、移動のコードを使用する。
- ⑤ ベッドのギャッジアップは、その他の体位変換コードを使用する。
- ⑥ 体操は、スポーツ訓練のコードを使用する。

(2) 状態調査の運用面について

5名の調査上、特に問題となる点は、指摘されなかった。